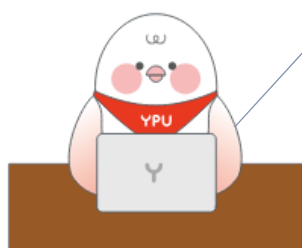


Microsoft365 サインイン、 Office インストール手順書



初版：2024.04.01

将来構想推進局 DX・IR推進室

目次

はじめに	2
1. 事前準備の確認	2
2. Microsoft365 へのサインイン.....	2
3. スマホによる二段階認証用アプリのインストール	3
4. 2段階認証によるセキュリティー保護の有効化.....	6
5. 最新版 Office のインストール方法.....	9
5. -1 現在インストールされている Outlook のバージョンの確認方法	9
5. -2 Office をアンインストールする前のデータバックアップ（オプション作業）	10
5. -3 現在インストールされている Office のアンインストール方法	11
5. -4 Microsoft365 の Office のインストール方法（インターネット経由）	13
5. -5 Microsoft365 の Office のインストール方法（配布した USB メモリーを使用）	15
6. 注意・補足事項	20
7. 問い合わせ先.....	21

はじめに

2024年4月より、Microsoft365を学内のグループウェア（コミュニケーション、情報共有、共同作業など、学業や業務の推進・効率化を図るためのプラットフォーム）として活用します。本目的遂行のため、Microsoft社が教育機関向けに提供しているA3プランと呼ばれるライセンスを、全学生・全教職員に付与しました。このマニュアルではA3プランを利用して、Microsoft365を使い始める時に必要なサインインの手順と、Office（Word、Excel、Outlookなどのアプリ）をインストールする方法を説明します。

なお、MACコンピューターをお使いの方は、別マニュアル（Microsoft365サインイン、Officeインストール手順書（MAC用））を参照ください。

画面の表示は、お持ちのパソコンや既にインストールされているアプリやバージョンなどによって変わることがあります。このマニュアルで表示されている画面ショットは一例として見てください。

1. 事前準備の確認

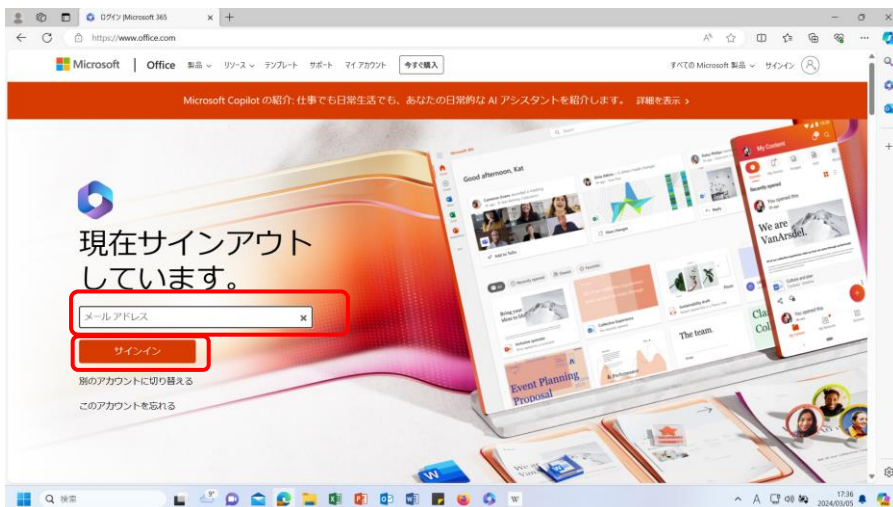
インターネットに接続されていることを確認してください。学内の場合、Wifiへの接続方法は、別マニュアルを参照ください。

学生向け：ホームページ>学内専用>学生生活>ITサービス>無線LAN設定のマニュアル

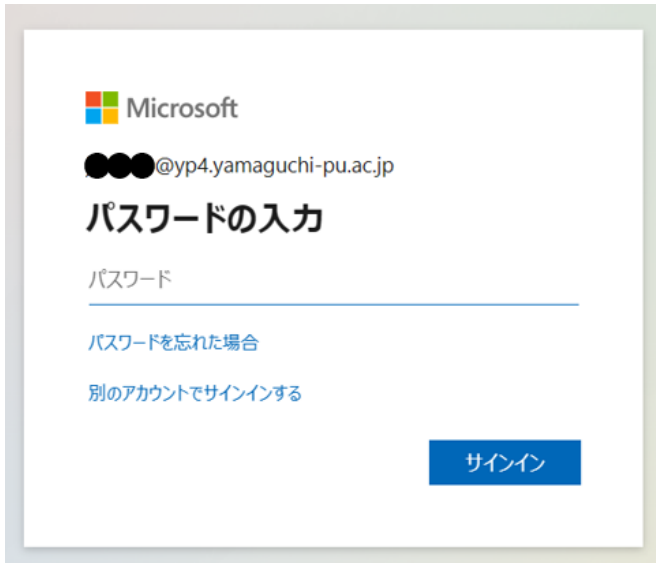
教職員向け：ホームページ>教職員向け>学術情報部門>無線LAN設定のマニュアル

2. Microsoft365へのサインイン

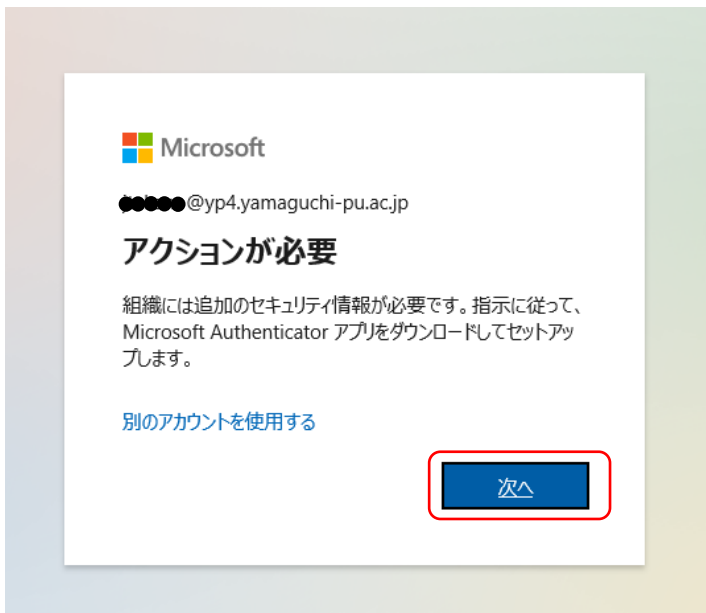
ブラウザ（Edge、Chrome、Firefoxなど）を立ち上げ、<https://www.office.com>のページを開けます。次の図の「現在サインアウトしています。」の部分は状況によって変わります。DX・IR推進室より連絡があったメールアドレスを入力し、「サインイン」をクリックします。



DX・IR 推進室より連絡があったパスワードを入力し、「サインイン」をクリックします。



次の表示が出た場合は、ご自分のスマホに“Microsoft Authenticator”と呼ばれる二段階認証に必要なアプリをインストールして進めます。



既にご自分のスマホに Microsoft Authenticator のアプリをインストールされている方は、p5 のアプリを開けるところから進めてください。既にアプリがインストールされている場合は、絶対にアンインストールや再インストールをしないでください。既に登録済みのアカウントにログインできなくなります。

3. スマホによる二段階認証用アプリのインストール

“アクションが必要”の画面の「次へ」をクリックします。

“アカウントのセキュリティ保護”の画面の「次へ」をクリックします。

スマホをお持ちでない方は、左下の“別の方法を設定します”をクリックし、電話を用いる方法に進めてください。

パソコンのブラウザに次のページが表示されます。「アプリをインストールする」をクリックします。

スマホから QR コードを読み込んで、Microsoft Authenticator をインストールします。



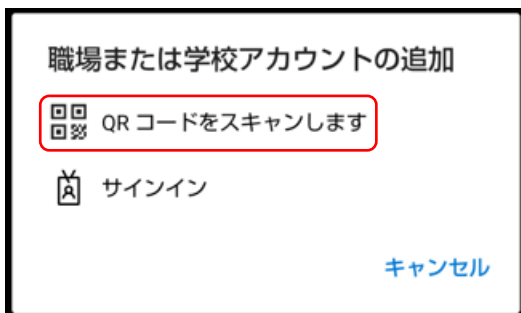
(スマホにアプリをインストール済みの方はここから始めてください。)

アプリのインストールが完了すると、アプリを開きます。

右上の“+”のマークをタップすると、アカウントの追加画面になります。



次の図のように表示されるので、「QR コードをスキャンします」をタップします。
これによりカメラが起動し、QR コードをスキャンできる準備が整います。



スマホ画面は次のようになります。



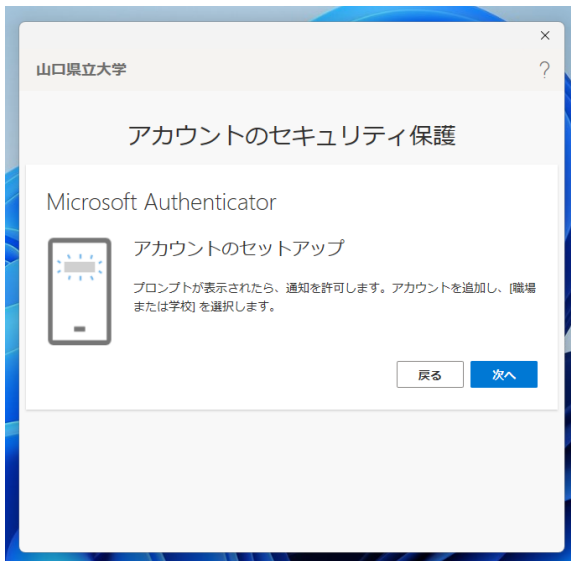
4. 2段階認証によるセキュリティー保護の有効化

パソコンの画面に戻り、「次へ」をクリックします。

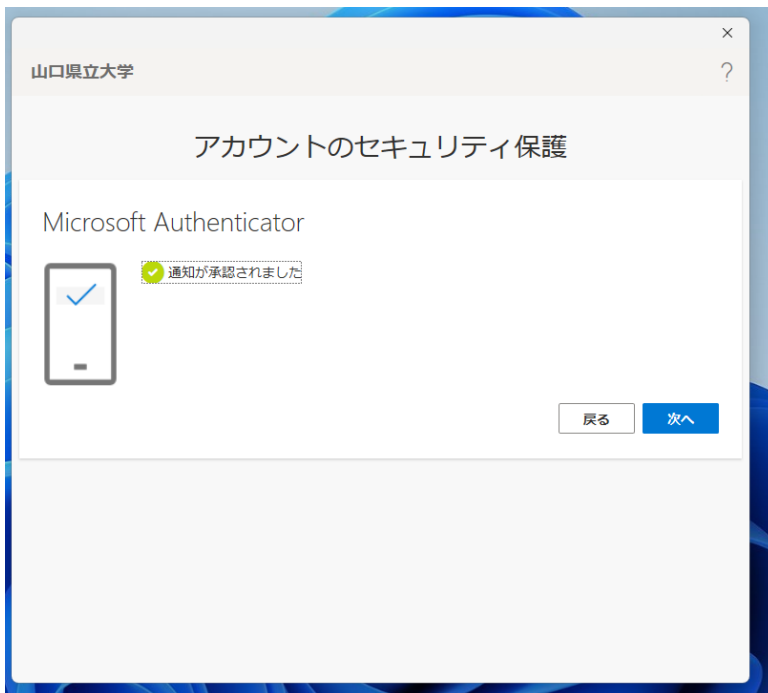
次の画面が出ますので、スマホで読み取ります。(QRコードは一部塗りつぶしています)



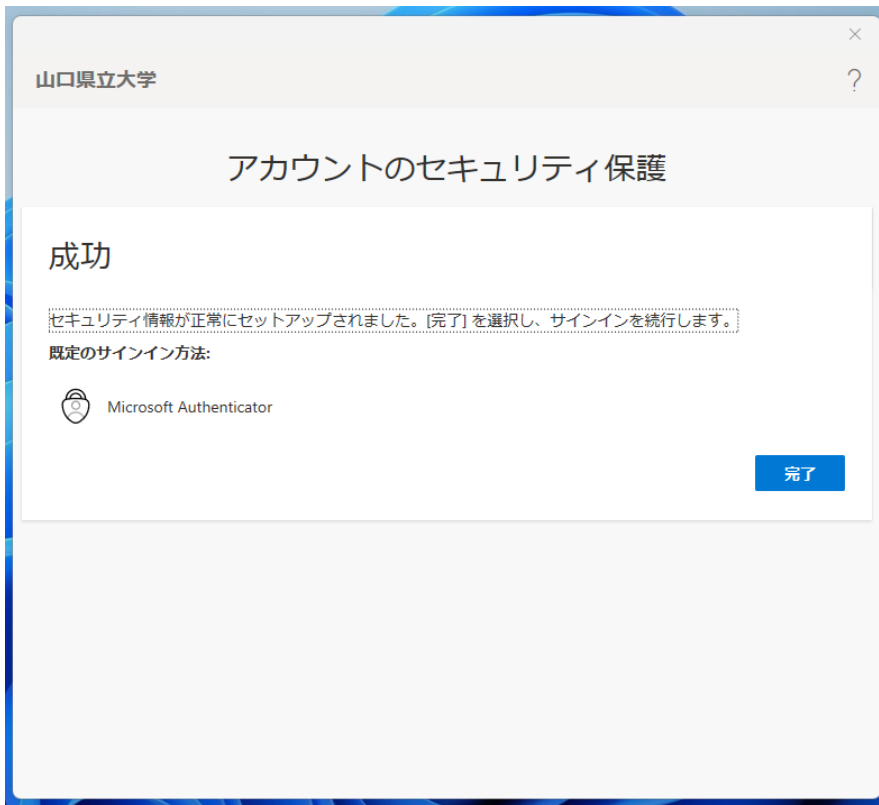
パソコン画面が次の表示となり、その上に二けたの数字が現れます。



しばらくするとスマホの画面に、入力用の画面が現れます。そこへ、パソコン画面で表示された二けたの数字を入力します。「サインインしようとしていますか?」という表示が出ますので、「はい」をタップします。ここで、指紋認証など追加の指示が出ることがありますので、遅れないように指示に従います。ここまでの操作により二段階認証が完了し、パソコン画面は次の表示に切り替わります。

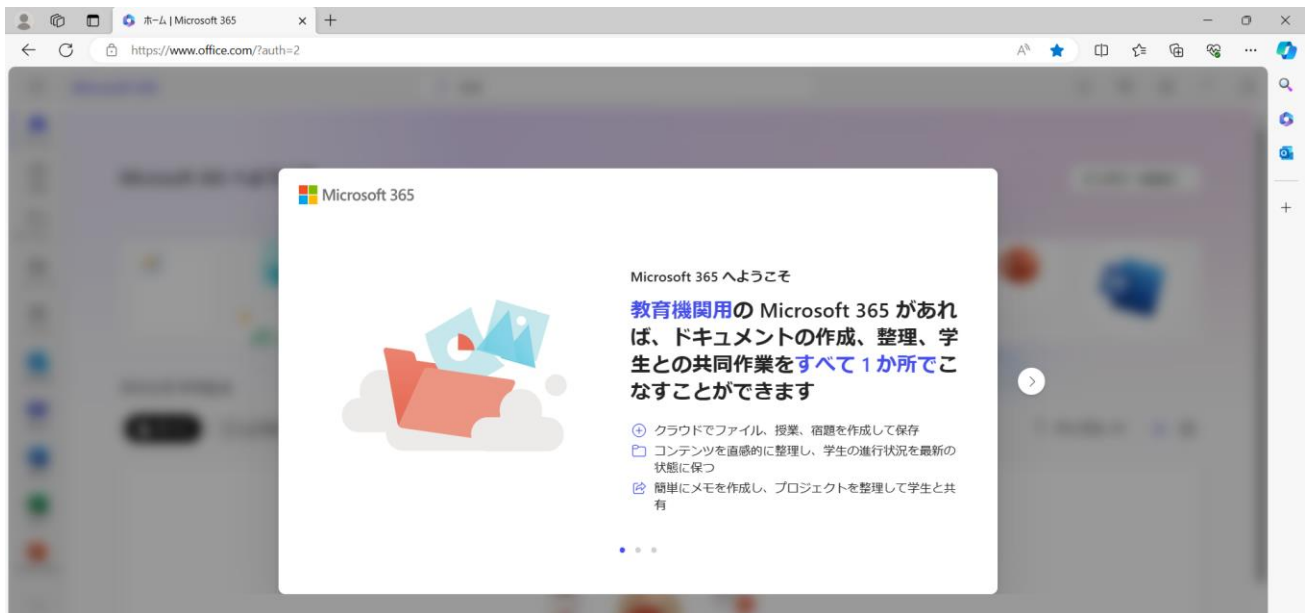


「次へ」をクリックし、次の画面で「完了」をクリックすることで、二段階認証の完了です。

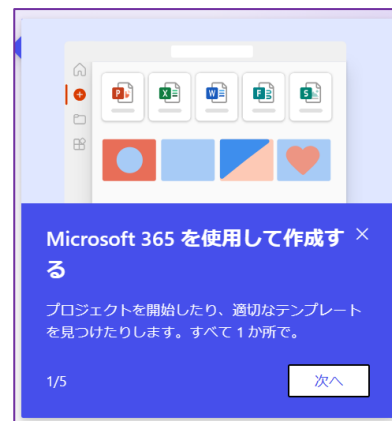


以上の操作により、Microsoft365 の A3 プランにサインインすることができました。

次のような画面が出た場合、右向き矢印をクリックして行ってください。



次のような Microsoft からの提案や勧誘があった場合でも X 印をクリックして閉じることで問題ありません。



5. 最新版 Office のインストール方法

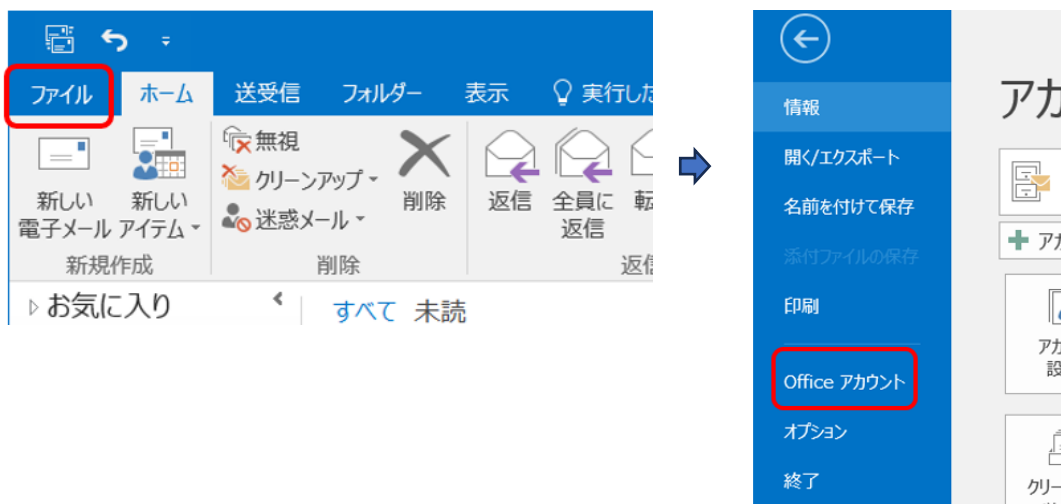
Word、Excel、Outlook といったアプリの総称が Office です。2024 年 4 月 1 日に、皆さまには Microsoft365 の最新版の Office をインストールするための A3 と呼ばれるライセンスが付与されています。現在お持ちのパソコンにインストールされているメールソフトである Outlook のバージョンによって、最新版 Office のインストール要否が変わってきます。Office2016 以前のバージョンの場合は、新メールアドレスでのアカウントの設定ができないため、古い Office を一旦アンインストールすることが必要となります。Office2019 や LTSC2021 版をご使用の方は、最新版 Office のインストールは必須ではありませんが、常に最新版のアプリを使用できることやセキュリティの観点から、最新版 Office のインストールを推奨いたします。下表がまとめです。

Outlook のバージョン	Office のアンインストール	最新版 Office のインストール
インストールなし	N/A	要
2013、2016	要	要
2019、LTSC2021	推奨	推奨
Microsoft365	不要	不要

5. -1 から 5. -3 は、使用中の Office のアンインストールについて説明します。最新版の Office のインストールについては、インターネット経由で行う方法（5. -4）と、DX・IR 推進室から配布した USB を用いる方法（5. -5）について、説明します。

5. -1 現在インストールされている Outlook のバージョンの確認方法

Outlook を起動し、次の図のように進めていくことで、バージョンを確認できます。



確認例：次の図の例は、2016 バージョンなので、アンインストールと、最新版 Office のインストールが必要となります。



次の図の例は Microsoft365 のサブスクリプションにつき常に最新版の Office が使用できるようになっておりますので、アンインストール、インストールともに不要です。

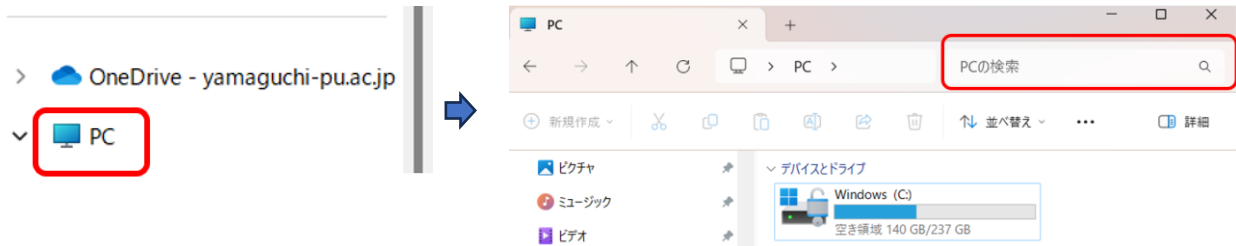


5. -2 Office をアンインストールする前のデータバックアップ（オプション作業）

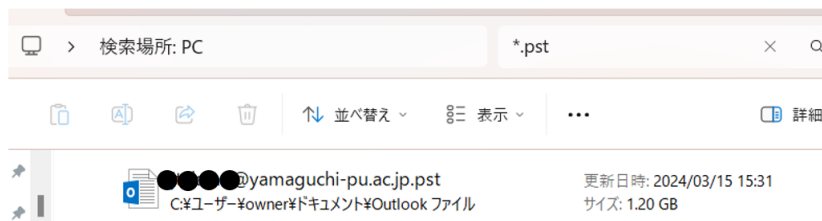
Office をアンインストールし、再度最新版をインストールしても、今まで使用していたファイルは元通りに使用できるようになります。Outlook でやりとりしたメールの履歴・連絡帳・予定表も元通りに復活します。しかしながら、もしこれまで Outlook で特殊な使い方をしていた場合、過去データが消えてしまうことがあるかも知れません。心配な方、よくわからない方は、この章で示した方法でデータのバックアップを取っておくことで、アンインストール時に過去データが消えた場合に復活させることができます。

メール履歴と予定表は、拡張子が pst のファイルに保存されています。PC をクリックします。PC の

検索用ウィンドウに、*.pst と入力し、“Enter” を押します。



「処理しています…」の表示中は、検索中です。数分以上かかることもあります。表示されたファイルの保存場所をメモし、ファイルを USB メモリーにコピーします。ファイルは複数存在することもあります。次の図の場合、ファイルの保存場所は、「C:¥ユーザー¥ドキュメント¥Outlook ファイル」です。

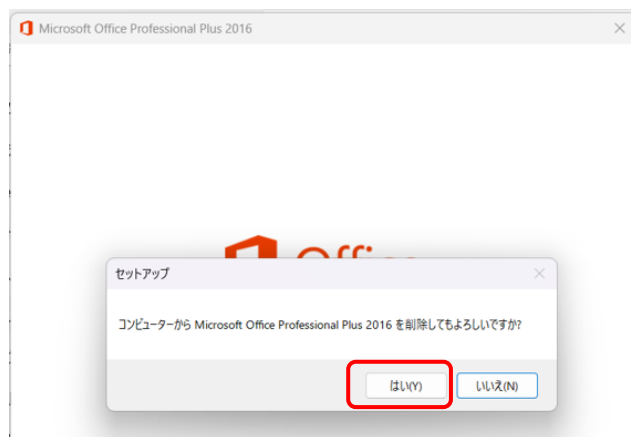
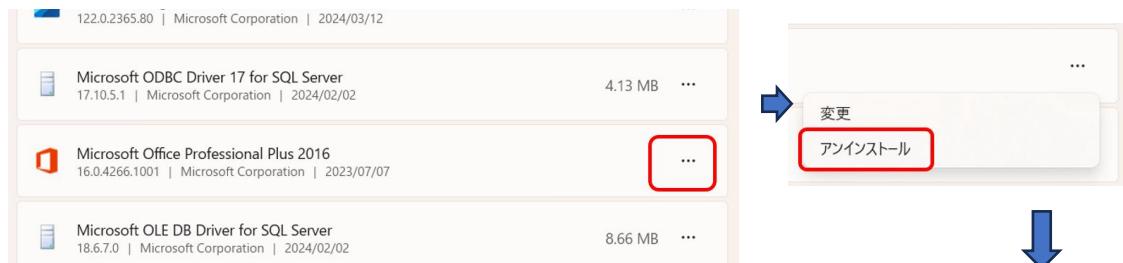
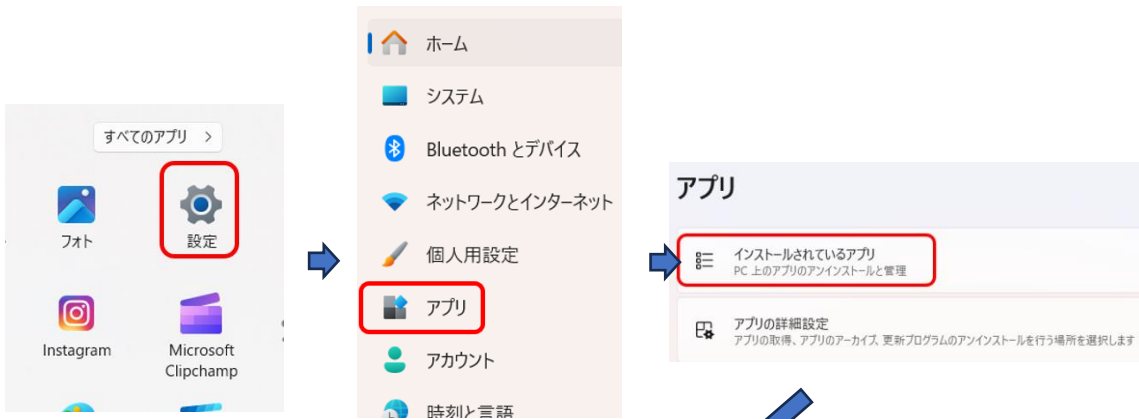


Outlook の連絡帳は、次に示す手順でエクスポートし、パソコン内に保存します。

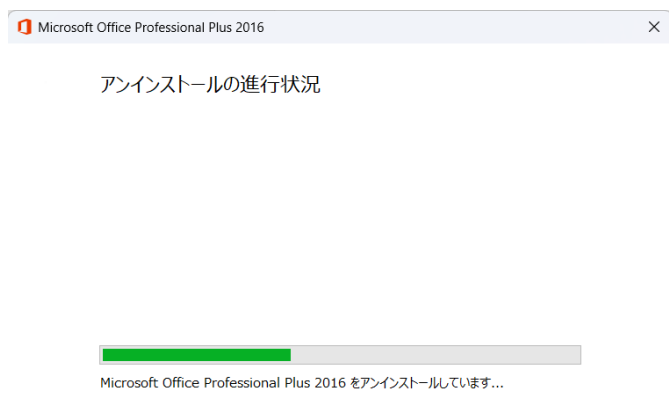
- Outlook を開きます。
- 「ファイル」タブをクリックし、「オプション」を選択します。
- 「詳細設定」をクリックし、「エクスポート」を選択します。
- 「エクスポートウィザード」が表示されます。ここで「ファイルにエクスポート」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 「テキストファイル（カンマ区切り）」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 「連絡先」を選択し、「次へ」をクリックします。
- ファイルの保存場所と名前が初期設定で表示されていますので、保存場所をメモし、「次へ」をクリックします。保存場所を変更したい場合は、「参照」をクリックして指定できます。
- “連絡先”を次のフォルダーからエクスポートします：連絡先 と表示されますので、「完了」をクリックします。

5. -3 現在インストールされている Office のアンインストール方法

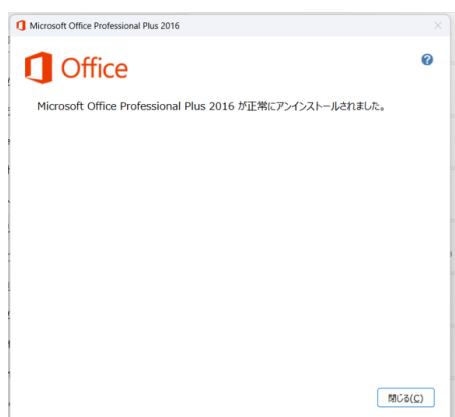
次に示す順にクリックしていくことで Office をアンインストールします。スタート → 設定 → アプリ → インストールされているアプリ → (下へスクロールし) Microsoft Office の「・・・」 → アンインストール → アンインストール→はい



アンインストールは、10分程度かかることがあります。



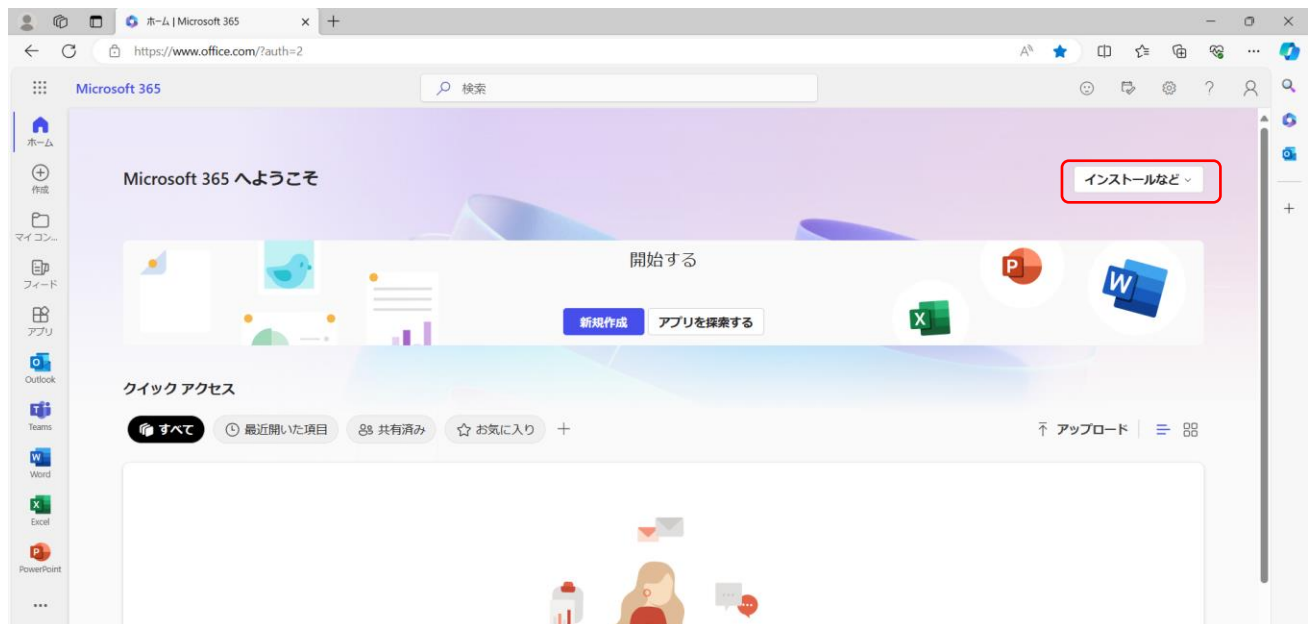
「閉じる」をクリックして終了します。



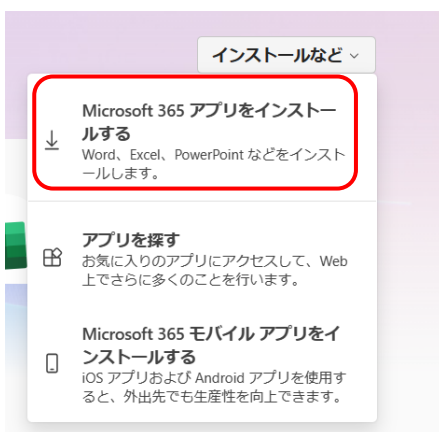
5. -4 Microsoft365 の Office のインストール方法（インターネット経由）

ブラウザで Microsoft のホームページを開け、Microsoft365 にサインインします。サインインしているかどうかは、右上の人のマークをクリックすることで判断できます。第4章から引き続き作業している場合は、既にその状態になっているはずです。

右上の「インストールなど」をクリックします。なお、画面の左側に表示されている Office の各アプリは WEB 版です。パソコンにインストールせずに、WEB 版として各アプリを使用することも可能です。WEB 版はデスクトップ版（パソコンにインストールしたアプリ）と概ね同じですが、操作画面の違いや、いくつかの機能で制限がかかることがあります。またデスクトップ版はネットに接続していない環境でも使用できます。



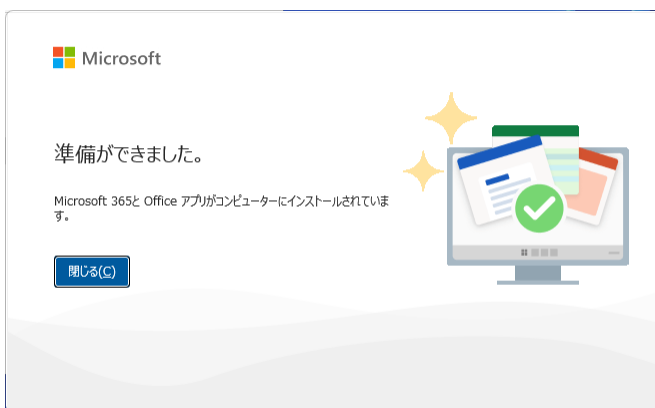
「Microsoft365 アプリをインストールする」をクリックすると、インストーラーと呼ばれるファイルがダウンロードされます。



ダウンロードされたインストーラーを実行します。回線速度やパソコンの性能によって、全アプリのインストールには、10~20分程度かかることがあります。



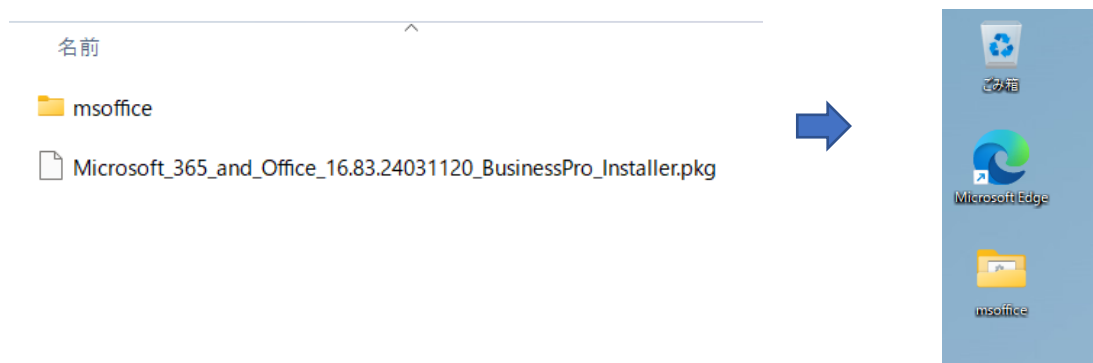
しばらくするとインストールが終了し次の画面が出るので「閉じる」を押します。



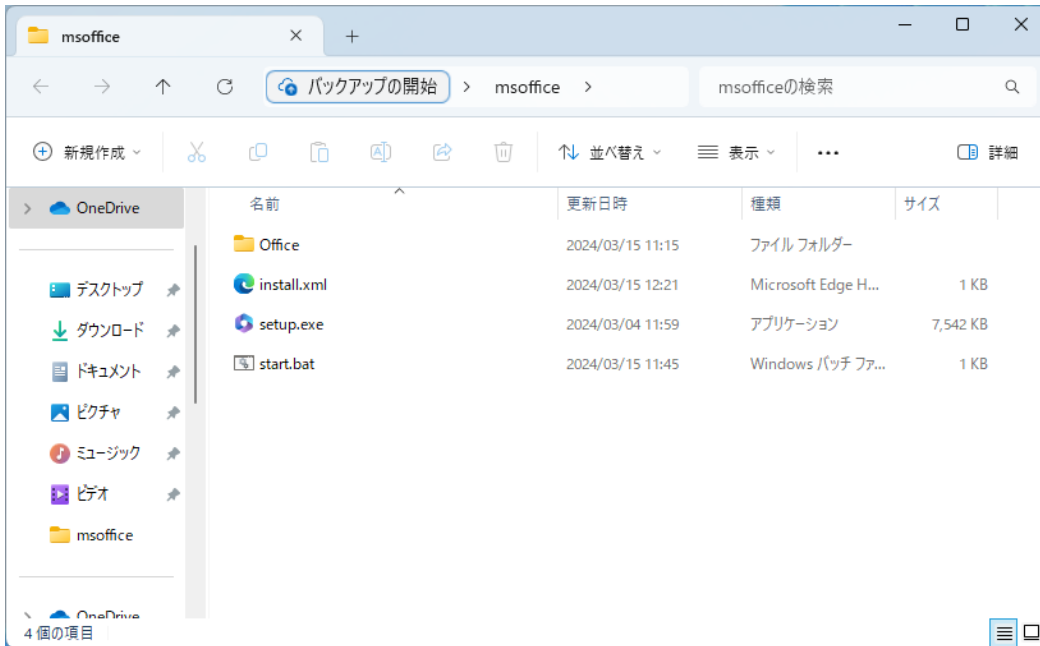
次は、5. -6 章へ行き、アプリの初回認証を行います。

5. -5 Microsoft365 の Office のインストール方法（配布した USB メモリーを使用）

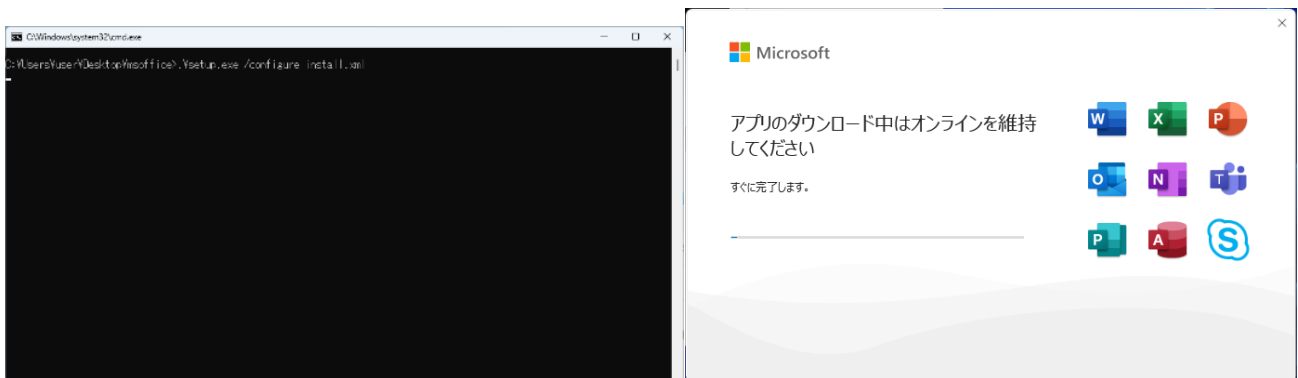
学生を教室に集めて Office のインストールを一斉に行おうとすると、ネット回線がパンクするため、インストール用の USB メモリーを配布いたします。USB メモリーをパソコンに接続します。次の画面が表示されますので、「msoffice」フォルダをデスクトップにコピーします。なお、もう一つのファイルは MAC 用です。



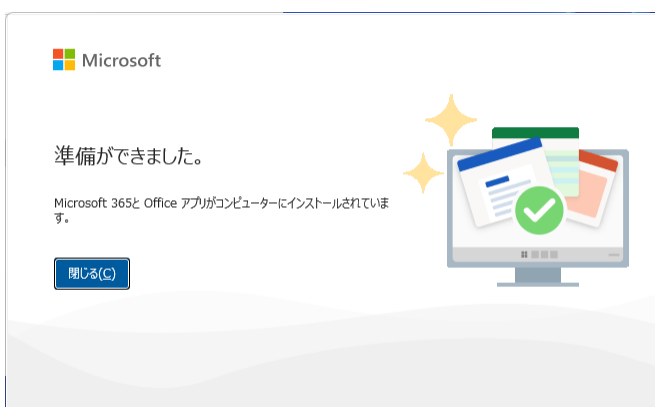
フォルダを開いて「start.bat」をダブルクリックします。



すぐに下記のような 2 枚の画面が開いてインストールが始まります。

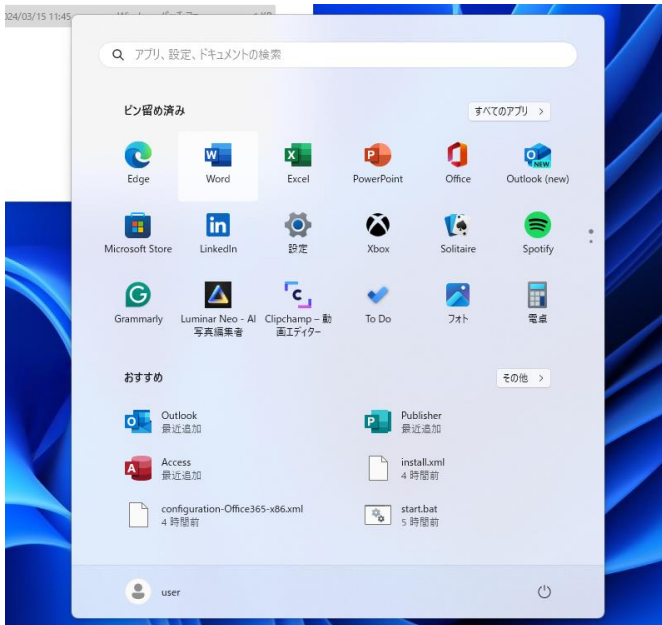


しばらくするとインストールが終了し次の画面が出るので「閉じる」を押します。



5. -6 アプリの初回認証

Office のインストールが完了し、最初にアプリを使用する際に、初回認証が必要となります。ここでは「Word」を例として説明します。スタートメニューから「Word」を起動します。



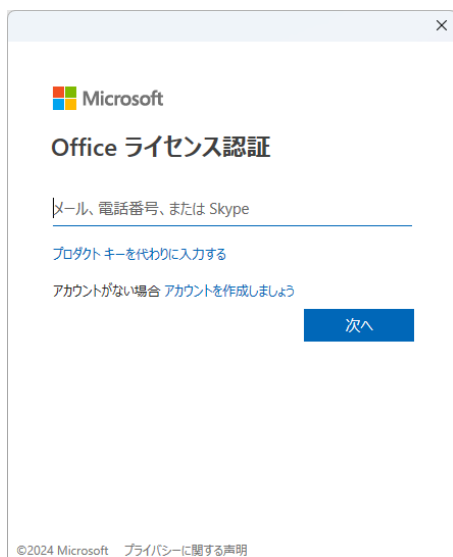
初回起動時はサインインが必要なため、次の画面が表示されたら「アカウントにサインインまたはアカウント作成」ボタンを押します。



次の画面が出た場合は、「閉じる」をクリックします。



次の画面でメールアドレスを入力し、「次へ」をクリックします。



Microsoft
Office ライセンス認証

メール、電話番号、または Skype

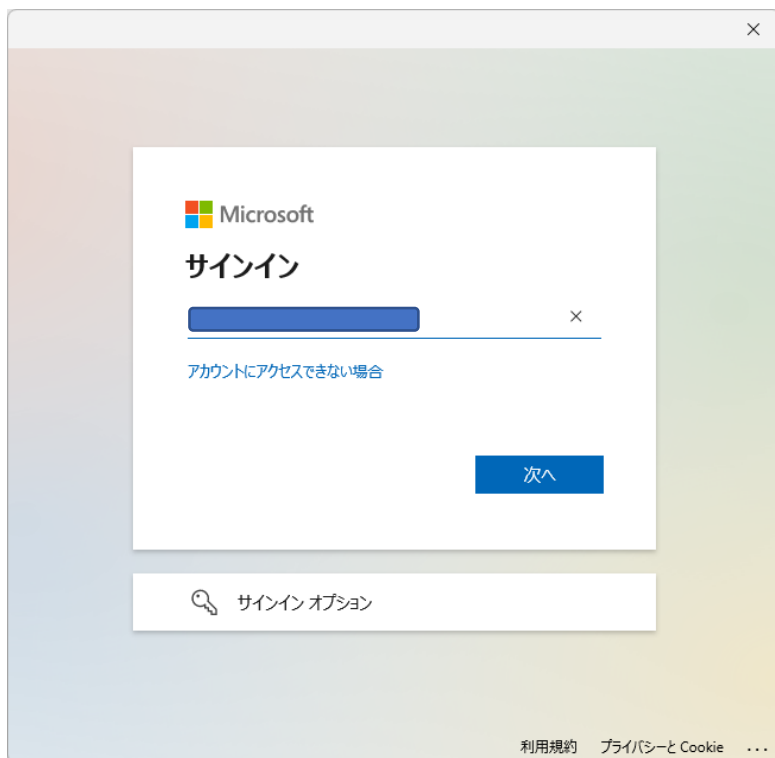
プロダクトキーを代わりに入力する

アカウントがない場合 アカウントを作成しましょう

次へ

©2024 Microsoft プライバシーに関する声明

次の画面でまた「サインイン」の画面が出たら再度メールアドレスを入力します。



Microsoft
サインイン

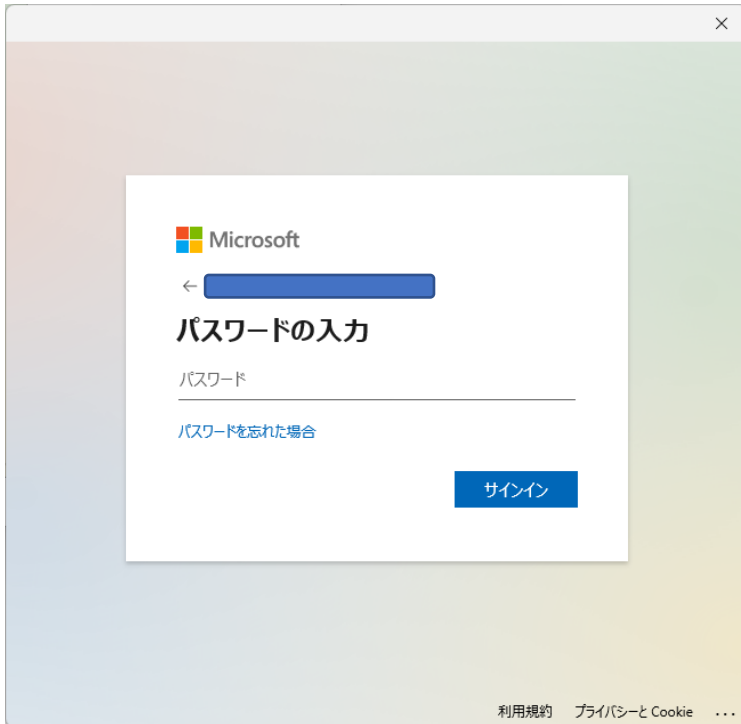
アカウントにアクセスできない場合

次へ

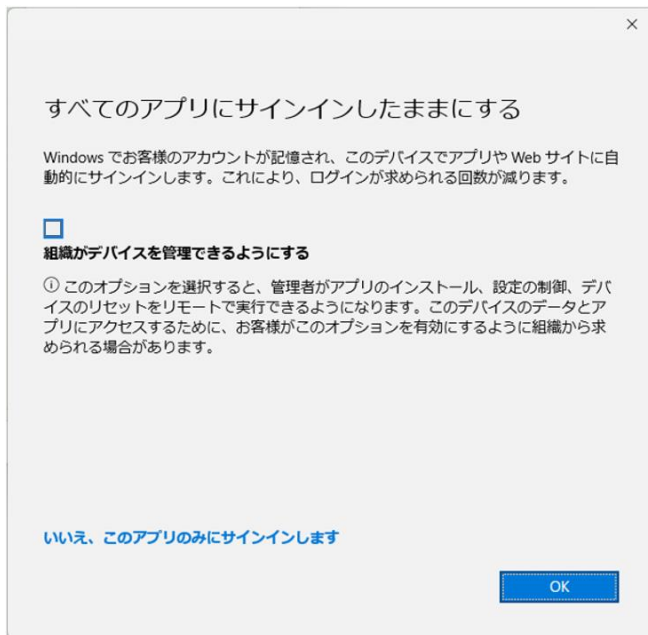
サインイン オプション

利用規約 プライバシーと Cookie ...

パスワードを入力します。



組織がデバイスを管理できるようにする」のチェックを外して「OK」を押します。



次の画面が出た場合は「同意する」をクリックします。



以上で、最新版 Office のインストールは完了し、アプリを使用できる準備が整いました。

6. 注意・補足事項

今回インストールした最新版 Office の中で使用頻度の高いアプリの説明は次の通りです。

- Word: ワードプロセッサで、文書作成や編集に使用されます。
- PowerPoint: プレゼンテーション作成ツールで、スライドショーを作成できます。
- Excel: スプレッドシート（表計算）アプリで、データの分析や計算に適しています。
- Teams: コラボレーションツールで、チャット、ビデオ会議、ファイル共有ができます。
- OneNote: ノート作成アプリで、メモやアイデアの整理に便利です。
- Outlook: メールクライアントで、メールの送受信やカレンダー管理ができます。

また、次に示すアプリの使用も可能です。インストールせずに WEB で使用するものも含まれます。積極的な活用を期待いたします。

- Stream: 動画共有プラットフォームで、教育コンテンツの共有に適しています。
- Access: データベース管理ツールで、データの整理と分析ができます。
- OneDrive: クラウドストレージで、ファイルの保存と共有ができます。
- SharePoint: チームメンバーがファイルやドキュメントを共有し、効率的にアクセスできるプラットフォームです。
- Forms: アンケートやクイズを作成し、回答を収集できるツールです。
- Power BI: 様々な数値データをグラフや集計表として可視化し、解析するツールです。ビジネス上の迅速な意思決定を実現できます。
- Planner: タスク管理ツールで、プロジェクトの進捗を追跡できます。
- Viva Learning: 学習コンテンツを統合的に管理し、学習体験を向上させます。
- Yammer: 組織内のコミュニケーションとコラボレーションを促進するツールです。
- Publisher: デスクトップパブリッシングツールで、印刷物やデザインを作成できます。

- Power Apps: カスタムアプリケーションを作成するためのプラットフォームです。
- Power Automate: ワークフローを自動化することで、繰り返し作業が簡単になります。
- Power Virtual Agent: ノンコーディングでチャットボットを作成できるツールです。

Microsoft365 は30日に1回はインターネット経由でライセンス認証が必要です。認証自体はバックグラウンドで行われるので、普段からサインインして使用していれば気にする必要はありませんが、端末が30日以上オフラインとなると機能低下モードとなりますのでご注意ください。ネットにつきMicrosoft365にサインインすることで、通常モードに戻ります。

本ライセンスは、“個人”に対して紐づくものです。本人以外の利用はできません。また、一つの端末を複数の人が使用する場合は、都度、その人のアカウントでサインインして使用することとなります。同じアカウントを複数の人が使いまわすことはライセンス違反となりますので、行わないでください。

パソコンを複数台持たれている方もおられると思いますが、今回契約しているA3プランにおいては、1ライセンス(=1メールアドレス)当たり、パソコン5台、タブレット5台、モバイルデバイス5台の最大15台までインストール可能です。もし、パソコンの買い替えなどにより、6台目のパソコンでOfficeを使用したい場合は、使用しなくなったパソコンを廃棄する前に、サインインした状態でアカウントの管理画面にて、該当のデバイスを“無効”にしてください。Officeをアンインストールしただけではライセンスは無効にはなりませんので、ご注意ください。

7. 問い合わせ先

将来構想推進局 DX・IR推進室（外線：083-929-6201）